

あすぴあ広報部会が  
取材しています。

## ぐるーぱる喫茶KODAIRA

「楽しく、異文化の食べ物について語り合う場を」との思いから今年発足した会です。中心メンバーの一人、長谷川乃扶子さんにお話を伺いました。

あすぴあ・元気村まつり団体紹介サイトのぐるーぱる喫茶 KODAIRA には、「食べ物から始まる文化の歴史など、興味の幅を広げて、国籍や年齢に関わらず、楽しい学びの場を広く作っていきたくて考えています。」とあります。

じつは、長谷川さん、アメリカに20数年暮されて、数年前に、アメリカ人のお連れ合いとともに日本に帰国されたとのこと。はじめは、異文化理解に役立つ教育関連の仕事をしよと考えていたそうですが、TOKYO 創業ステーションTAMAの「こだいら創業塾」を受講した時に知り合ったおひとり（代表：長谷川陽子さん）と意気投合。長谷川陽子さんがカフェ

を計画していたことから、喫茶をめざして会を立ち上げたそうです。名前の「ぐるーぱる」は、包括的、全世界的、すべての人が集える、といった意味。「ぐるーぱる喫茶」というネーミングで、そこに込めた思いがだれにも連想できるとあって、とのことでした。

まずは、今年度の「小平市提示型公募事業」の補助金を受けることができ、5回の連続イベント「KODAIRAで楽しむ世界「食」の旅」を企画。すでに3回実施、あと2回は2025年1月18日、2月22日。

毎回テーマを決めて、「包む」、「はさむ」、「サンクスギビング・スペシャル：アメリカの人気ホリデーデザートづくり」。のこり2回は「クルド料理と文化を知る」「フィリピン料理と文化を知る」。それぞれ、外国人の方、あるいはその国に縁のある方が調理し、その国の歴史、文化、メニューのことなどを話して参加者と交流するとのこと。いずれは、常設の場所を確保してカフェをやつつ、異文化間交流の

場づくりを目指しているそうです。

「お手伝いスタッフ」「多国籍メニューの企画と調理デモンストレーションのスタッフ」を募集中。（伊）



「KODAIRAで楽しむ世界「食」の旅」  
第2回「はさむ」をテーマにした料理  
・フィリピンの北京ダック風  
・中華風パン（ミルクマントウ）  
・アルゼンチン風アルファホール

That means we are not only looking to bring people together from different nationalities.

4回目申込▶



5回目申込▶



### DATA

活動場所●市内公民館など  
Facebook●<https://www.facebook.com/share/5eyfbwp1VfHDwWWd/>  
X●@vrmlinKODAIRA

## imacoco(イマココ)

助産師・看護師・保健師・性教育認定講師・思春期保健相談士などの資格をそれぞれ持つ三人の女性が立ち上げた団体です。

代表の松下由美さんは、知人から子どもの身体の事を相談されたことがキッカケで、以前同じ病院で働いていた神田佳子さん、古川奈緒子さんと2024年春にサークル「ほのぼの」を作り、その後imacoco(イマココ)と名称を変え、小学生を対象に助産師による「いのち」のお話の会「わたしたちのころとからだのはなし」を小平市小川東第二地域センターで開きました。

松下さんたちは、日頃から乳幼児を持つ母親が、病院に行くほどでもない、ちょっとした悩み・心配事を医師に相談しに来る姿をしばしば見ているそうです。

育児に関する情報が多く、SNSなどで簡単に目に入るようになったことが、母親が心配ごとに敏感になってきているのかもしれません。また女性の



の身体についても、お話ししたり相談したりできる場所が身近にあればと考えています。

8月には、お話の会「わたしたちのころとからだのはなし」を開き、性教育のお話をしたそうです。性教育と言っても、生殖に関することだけではない「いのちの安全教育に基づいた◎プライベートゾーン、◎からだの権利、◎性的同意、◎バウンダリー（境界線）」など子どもたちに分かりやすくお話しするそうです。性教育とは、生まれた時から更年期(40~50代)にいたるまでのことと考えられるようになってきているそうです。国際的には、SRHR[Sexual and Reproductive Health and Rights (性と生殖に関する健康と権利)]が提唱されています。「性と生殖について、私たち一人ひとりが適切な知識と自己決定権を持ち、自分の意思で必要なヘルスケアを受けることができ、みずからの尊厳と健康を守れること」女性だけでなく、男性にも関心を持ってもらいたいと話していました。

imacoco(イマココ)は親子のコミュニケーションも大切と考えて、親子で参加できる「おやこでピザの会」を開いてピザづくりを楽しんだりもしています。年末にも「年末「ころと」スッキリ大掃除の会」パネトーネ作りを開催予定です。

(安)

### DATA

連絡先●[imacoco.contact@gmail.com](mailto:imacoco.contact@gmail.com)  
HP●<https://sites.google.com/view/imacoco>  
Instagram●[imacoco\\_03](https://www.instagram.com/imacoco_03)

## NPO小平市の多文化共生をすすめる会

上水南公民館で当会の副代表の白井さんに当会の活動について概略をお聞きした後、当会の代表の中谷さんに会員4名が出席する例会前の準備会議に少し、顔を出させて頂き代表をはじめ、会員の皆さんから会の活動について直接お聞きすることが出来ました。

### ■会を作った切っ掛けは

東京区部、三多摩主要都市部で外国人居住者の増加及び国籍の多様化が顕著になる中で、先進的区部や三多摩市部においては市民団体による在住外国人支援による多文化共生の活動が進展する中で、行政としての窓口を設けそれらの活動をサポートしているところも見られるようになってきました。

それで、小平市も遅れてはまずいと、中谷さんが中心になり2023年に5人で「NPO小平市の多文化共生をすすめる会」をつくり、同団体名で小平市役所に請願書を出したところ、それが議会で承認されました。



### ■活動

以来1回/月会員に小平市役所の職員（専任係長）及び一部の市議会議員と（社）小平市国際交流協会理事長（瀧口優）を相談役として入れた定例会を市内公民館や地域センターで開催しています。今回は1月17日を予定しています。

### ■会独自の活動としてはなにを

会員のうちの3人がそれぞれの居住地でその居住地に居住している外国人を対象に日本語教室を開催しています。例えば、会員の菊地さんは上水南公民館で、同地域居住の外国人を対象に「上水日本語の会」を1回/週、資料代を除いて原則無料で開催しています。会の目的や方向をよく理解した会員が講師やチラシ作りをやり参加者を募集もしています。私も一度会場を覗かせて頂き、当日参加予定の外国人に話しかけもしてみました。後日、一度本番の様子も見せて頂きました。（細）

### DATA

連絡先●080-3558-6791(白井靖夫)  
メール●[Yasuoshir2@gmail.com](mailto:Yasuoshir2@gmail.com)